公開シンポジウム

意思疎通支援の架け橋づくり

～ 多様なコミュニケーション障害への支援方法を探る ～

入場無料
事前登録制
保健医療福祉職の方だけでなく、一般の方もご参加いただけます。

日時 2016年12月1日(木)
12:30～16:00（12:00より受付開始）

会場 星陵会館ホール

意思疎通（コミュニケーション）は、ひとが「どこで、誰と、どのように生活するか」を選択するために重要です。そのため、**コミュニケーションに困難を抱える人々への支援**として、「手話通訳や要約筆記」・「触手話や指点字」・「代読や代筆」・「絵カード等を用いたコミュニケーション」・「透明文字盤やメカニカルスイッチを使ったコミュニケーション支援」など、さまざまな手法が開発・工夫されてきています。

本シンポジウムでは、ALS（筋萎縮性側索硬化症）・筋ジストロフィー等の難病や、聴覚障害、知的障害、発達障害を中心に、平常時だけでなく災害時の継続的な支援も視野に入れ、多様なコミュニケーション障害への支援方法を探ります。

□ 参加申込み方法

①専用ホームページから申込み
下記の専用ホームページ
http://www.niph.go.jp/topics/sympo1201.htm 参加申込フォームから。

②FAXで申込み
別途配布のチラシの裏面、または、専用ホームページよりダウンロードできる参加申込フォームにご記入の上、FAX 送信してください。

参加申し込みで提供された個人情報は、本シンポジウムの運営と個人を特定しない各種統計資料の集計処理を行うために利用し、ご本人の承諾なしに第三者に開示することはありません。

□ 申込受付期間

2016年10月14日(金) ～11月15日(火)

□ 定　員 300名

（先着受付登録順。定員に達し次第、申込み終了とさせていただきます）
（介助の方もご登録をお願いします）

[注意・連絡事項] ※当日は、事務局返信の「参加登録書」を受付にご提出ください。※インターネット中継あり。※駐車場はございませんので、車でのご来館はご遠慮ください。※会館内には飲み物の自動販売機がございませんので、あらかじめご了承ください。（ホール内飲食禁止）

総合司会・座長

橘 とも子
【国立保健医療科学院研究情報支援研究センター 上席主任研究官】
都区の公衆衛生行政医師を経て現職。エビデンスに基づく障害保健福祉医療政策研究を実施中。日本公衆衛生学会認定専門家。疫学、人材育成、健康危機管理。

座　長

水島　洋【国立保健医療科学院研究情報支援研究センター 上席主任研究官】
研究テーマはエビデンス情報を活用した公衆衛生の推進。希少疾患・難病データベースの構築・解析、災害時の情報基盤構築、オミックス情報を用いた健康・疾患解析。

演　者（敬称略、五十音順）

「東日本大震災時に広域搬送を行った患者のその後の療養状況 」
今井 尚志【医療法人徳洲会仙台徳洲会病院 ALS ケアセンター長】
神経難病患者の自律を育むチーム医療を長年にわたり実践。日本神経学会の ALS 治療ガイドライン（第一版）作成メンバーで学会指導医。

「知的障害者への情報保障・コミュニケーション支援」
打浪 文子【淑徳大学短期大学部こども学科 准教授】
国立障害者リハビリテーションセンター研究所障害福祉研究部を経て現職。専門分野は社会福祉学・社会言語学・特別支援教育学・障害学等。

「発達障害とコミュニケーション支援」
大塚　晃【上智大学総合人間科学部社会福祉学科 教授】
厚生省児童家庭局、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課を経て現職。
[発達障害者支援法 . 特集子どもの心 (1). 母子保健情報. 2006; 54:74-78. ほか]

「重度身体障害者 (ALS, 筋ジストロフィーなど) のコミュニケーション支援の取り組み
口文字法、透明文字盤、メカニカルスイッチおよびサイバニックスイッチまで」
中島　孝【国立病院機構新潟病院 副院長（神経内科）】
医療用 HAL の医師主導治験の総括責任者。重度障害者のコミュニケーション支援機器の実用開発研究を実施中。神経内科、臨床遺伝専門医。

「聴覚障害とコミュニケーション支援」
早瀬 久美【昭和大学薬局 薬剤師】
聴覚障害者。2001年欠格条項撤廃運動によって薬剤師免許を取得。スポーツファーマシストとしてアスリート支援および自身も自転車競技選手としてデフリンピックを目指している。

交通アクセス

〈会場〉**星陵会館**　〒100-0014 東京都千代田区 永田町2丁目16-2　TEL: 03-3581-5650

〈 交通のご案内 〉

□東京メトロ有楽町線・半蔵門線・南北線
永田町駅6番出口より　徒歩3分

□東京メトロ千代田線
国会議事堂前駅　5番出口より　徒歩5分

□東京メトロ南北線
溜池山王駅5番出口より　徒歩5分

□東京メトロ銀座線・丸の内線
赤坂見附駅11番出口より　徒歩7分

手話通訳・要約筆記
磁気ループ
を用意しております。

【主　催】 平成28年度厚生労働科学研究費補助金 障害者政策総合研究事業（身体・知的等障害分野）
「意思疎通が困難な者に対する情報保障の効果的な支援手法に関する研究（研究代表者:橘 とも子）」研究班

【お問い合せ先】 公開シンポジウム「意思疎通支援の架け橋づくり」事務局　Fax:048-458-6197　E-Mail:ishisotsu@niph.go.jp
国立保健医療科学院 研究情報支援研究センター（研究代表者）橘 とも子　〒351-0197 埼玉県和光市南2-3-6

[専用ホームページ]　http://www.niph.go.jp/topics/sympo1201.htm